



制度改正のポイントについて解説する加藤氏

外国人技能実習制度 改正ポイント学ぶ

でー
港ナ
境セ

境港市上道町の境港
商工会議所で16日、外
国人技能実習制度「活
用セミナー」(同商議所
主催)が開かれ、企業
経営者や労働担当者ら
が今後の制度改正につ
いて認識を深めた。
外国人技能実習生の
職業紹介事業を手掛け
るスキルウェイ協同組
合(鳥取市)代表理事

の加藤彰一氏を講師に
招いた。境港市では基
幹産業の水産業などで
同制度が活用されてい
る。
加藤氏は、外国人技
能実習制度の適正化に
向け審議中の法案の概
要を説明。受け入れ枠
や職種、在留期間など
規制緩和の一方で、実
習生ごとの技能実習計

画作成など受け入れ企
業の間と責任が増す
ことを指摘した。
その上で、「会社の
労務管理が問題にな
る。労基法の手続きな
どが徹底できなけれ
ば、受け入れないほっ
がいい」「門戸を開け
ば、外国人がいくらで
も来る時代は終わっ
た。鳥取県は最低賃金
が安いのもネック。ま
ずは日本人の賃金を上
げて、雇用を高め、そ
れでダメなら実習生を
検討してほしい」と説
いた。(久保田恭子)

画作成など受け入れ企
業の間と責任が増す
ことを指摘した。
その上で、「会社の
労務管理が問題にな
る。労基法の手続きな
どが徹底できなけれ
ば、受け入れないほっ
がいい」「門戸を開け
ば、外国人がいくらで
も来る時代は終わっ
た。鳥取県は最低賃金
が安いのもネック。ま
ずは日本人の賃金を上
げて、雇用を高め、そ
れでダメなら実習生を